

平成 27 年第 1 回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
3月3日(火)	1	1	岩 本 利 雄 議員	1
	2	2	平 野 直 幸 議員	2
	3	3	湊 瀬 栄 子 議員	3
	4	4	渡 辺 督 郎 議員	4
	5	5	中 野 良 雄 議員	5
3月4日(水)	6	1	朝 長 隆 洋 議員	6
	7	2	宮 本 一 昭 議員	7
	8	3	井 田 利 定 議員	8
	9	4	戸 浦 善 彦 議員	9
	10	5	中 尾 清 敏 議員	10
3月5日(木)	11	1	小 嶋 俊 樹 議員	11
	12	2	杉 澤 泰 彦 議員	11

1. 岩本利雄議員

質問事項 1

職員提案制度について

質問の要旨

- (1) 職員提案制度は、職員の市政に関する提案を奨励することにより、職員の意欲の高揚及び活力ある組織作りを進めるとともに、事務の効率化及び市民サービスの向上を図るため、西海市職員提案制度規程に基づき実施されているが、現状は活性化されているとは言えない。下記事項について、見解を伺いたい。
 - ① 1人で複数件提案した方もいるが、現在の職員数からすれば、1人あたりの提案件数が少ない。現状をどのように捉えているか。
 - ② 各部署において、職員が職員提案制度に積極的に取り組むよう奨励するなどの取組みを実施しているか。
 - ③ 134件の提案で、不採択57件、一部実施を含め実施済のもの37件、検討中のもの40件。検討中のものについては、早く結論を出すべきだ。
- (2) 提案報奨副賞として、各賞毎に「調査研究活動費助成権」「人間ドック優先権」「職員駐車場優先割当権」を付与することになっているが、これは市独自のものか、それとも他自治体と同一のものか。これらの副賞は提案活性化には繋がりにくいと思われる。副賞は、賞金或いは図書券や地元特産品に変更できないか。
- (3) 提案活性化の一つとして、「累積提案賞」の新設を提案する。この賞は、例えば、提案件数が累積で50件、100件、150件、200件に到達した者に、表彰状と副賞を贈るものである。効果があると考えているがどうか。

質問事項 2

イノシシ対策について

質問の要旨

- (1) 平成26年度の現時点における捕獲頭数は何頭か。平成26年度捕獲計画頭数(2,900頭)の達成見込みは。
- (2) 平成22年度からは2,000頭以上を捕獲し、そのうちの約2割を自家消費し、残りは焼却や埋設処理をしている。長崎市は、処理加工所を開設し、食肉として活用できるものは買い取り、長崎市の特産品として販売している。本市も長崎市同様地元特産品として地域活性化に繋げないか。

2. 平野直幸議員

質問事項1

肥前大島港の埠頭整備と関連事業の展望について

質問の要旨

長崎県は平成27年度から5か年計画で、肥前大島港の埠頭整備を図ることを明らかにした。計画では、馬込地区の港口を塞ぐ形で、長さ210メートル・水深最大7.5メートルの埠頭を整備し、アクセス道路も整備することで、更なる港湾機能の強化を図る内容となっている。一方、西海市では、県の事業に合わせて、塞いだ港内の埋立てを含めた活用策も検討中とマスコミでは報じている。

造船界の盛衰は、国・県・市を問わず重大な関心事であり、特に本市にあっては造船業活況に対する期待が大きく、今回の長崎県の計画では、造船業の用地としての活用も想定されることから、早期の完工を願うものである。今後の展望を伺う。

- (1) 県の計画は今後どのように進められるのか。また、西海市では現在、どのような検討がなされているのか。
- (2) 関係漁業協同組合・関係町内会等との折衝は進行しているのか。
- (3) 埋立て後の構想は、どのようなものになるのか。

質問事項2

長崎の教会群とキリスト教関連遺産の世界遺産登録の動きと西海市の観光政策について

質問の要旨

政府は、平成27年1月22日、ユネスコ世界遺産センターへ、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の正式推薦書を提出したと発表した。

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」は、4世紀にわたるキリスト教の伝播と普及・禁教下での継承・解禁後の信仰の復帰をあらわす城跡・歴史的景観・教会建築であるが、キリスト教の伝播と普及の時代における横瀬浦への南蛮船来航及び大村純忠の受洗、中浦で生誕した中浦ジュリアンを含む天正遣欧少年使節などの歴史的事実は、これらキリスト教関連遺産とタイアップさせるだけの話題性は十分あると認識している。

については、世界遺産登録に合わせ、この顕彰の地をさらに整備するとともに、キリスト教関連遺産の観光ルートづくりを進めることについて所信を伺う。

- (1) 訪れやすいように、中浦ジュリアン顕彰の地までの道路を整備してはどうか。
- (2) 七釜鍾乳洞までを一体的に散策の里として整備してはどうか。

- (3) 中浦と横瀬浦の観光の推進策はできているか。

3. 瀧瀬栄子議員

質問事項 1

大瀬戸ふれあいプールの温水化について

質問の要旨

- (1) 通年で利用したいという声が寄せられている大瀬戸ふれあいプールについて、西彼北部地域新市建設計画変更（延長）に対する意見公募に応じてプールの温水化を提案したところ、生涯スポーツ振興として追記されたので、温水プールの計画が推進されるものと理解しているが、具体的な計画について伺う。
- (2) 崎戸温水プールが休館されているが、大瀬戸ふれあいプールを多くの市民に利用してもらうために交通対策が必要だと思うが、いかがお考えか。

質問事項 2

空き家対策について

質問の要旨

平成 26 年 4 月に西海市空き家等の適正管理に関する条例が施行され、平成 26 年 11 月 19 日に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が成立し、本市においても空き家対策は重要な課題の一つである。そこで、

- (1) 西海市における空き家の件数及び空き家率は。
- (2) 西海市における空き家のうち、老朽化し廃墟同然になって地域環境に悪影響を及ぼしている空き家の件数とその対策は。
- (3) 空き家を有効利用する対策を取り、定住促進などに活用する考えはないか。

質問事項 3

市営住宅の住み替えについて

質問の要旨

市営住宅の階層ごとの空き室の状況はどうなっているか。その上で、市営住宅の 2 階以上に入居する高齢者などが、身体的理由により、同じ住宅の 1 階に生じた空き室への住み替えを希望した際に支援する考えはないか。

質問事項 4

松島架橋の早期実現について

質問の要旨

- (1) 松島架橋早期実現に向けて、建設期成会の事業を促進するため、十分な補助金を確保すべきと思うが、いかがお考えか。
- (2) 啓発用リーフレットが作成されたが、平成 27 年 2 月 7 日に開かれた総決起集会における松島代表からの意見発表を活字にしてリーフレットと一緒に配布することで、松島の住民の気持ちを市民が共有し、要望先にも伝えることが出来ると思うが、いかがお考えか。

質問事項 5

農水産物の特産品と販路拡大について

質問の要旨

- (1) 西海市農業振興公社と連携して取り組んでいる地元柑橘類を原料としたアイスクリームなどの販売は、農業振興に効果をもたらしているか現況を伺う。
- (2) 長崎がんばらんば国体新体操競技の本市開催並びに広尾町及び西都市との姉妹都市交流による市の特産品の売上げなど経済的効果を伺う。
- (3) 「長崎西海の魚」ロゴマークを使用した取組みについて伺う。
- (4) 市内外に特産品を広報するために、市役所及び総合支所などのロビーの活用について伺う。
- (5) 特産品の開発や販売など市内の女性団体の参画とその支援について伺う。

4. 渡 辺 督 郎 議員

質問事項 1

小中学校適正規模・適正配置について

質問の要旨

- (1) 市内の小中学校適正規模・適正配置の進捗状況はどうなっているのか。
- (2) 今般、文科省より公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引きが策定され、各教育委員会に通達されたと聞いているが、この手引きにより今後、小学校、中学校の統廃合がどのように変わっていくのか。

質問事項 2

幸物分校跡地活用について

質問の要旨

- (1) 公有財産利活用推進本部、また、公有財産利活用検討委員会で、幸物分校跡地についての検討は進んでいるのか。
- (2) 幸物分校跡地利用について、提案したい。地域は森林資源の豊富な地区である。森林資源に特化した事業を進めるべきと考える。①炭焼き事業、特に白炭窯を設置して、白炭いわゆる備長炭を生産する。②木育事業、広葉樹の木を使って、木のおもちゃを製作し、木育ワークショップを実施する。③バイオマス発電所を造って、地域の電力自給を目指す。④日本蜜蜂の養蜂事業などにより、雇用創出を目指してはどうか。
- (3) 運営に当たっては、岩手県紫波町のオガールプロジェクトという補助金に頼らない、新しい公民連携で実施している事業を参考にしてはどうか。

質問事項 3

新電力を活用した行政改革について

質問の要旨

電力は、現在でも 50 k W以上の大口需要家に限り小売りの自由化が認められており、特定規模電気事業者（P P S）と呼ばれる新電力事業者から購入することができる。

西海市も、小中学校を含めた公共施設すべてを合わせると相当規模の大口需要家になると思うが、新電力事業者から電力を購入する場合のメリット、デメリットを検証したことはあるのか。なければ、積極的に検討すべきではないか。

5. 中野良雄議員

質問事項 1

地域防災対策について

質問の要旨

- (1) 近年、局地的な豪雨や大型台風の発生が増加し、多くの人命と貴重な財産が奪われている。火災や自然災害などの災害対策は、消防団等の公的組織だけでの対応には限界があり、消防団と自主防災組織の確立が急がれている。
本市の自主防災組織の活動状況と育成について伺う。

(2) 消防団の組織状況を見ると、かつては自営業や農業・漁業など地元で働く人が多くいたが、近年はサラリーマンの増加や地元で働く人の減少により、火災発生時等の駆けつけ体制が弱くなっていると言われている。

また、消防団員の確保も年々困難になっていると言われており、各方面団とも欠員状態が続いている。

消防団員確保の取組み状況と消防団員確保のための待遇改善策について伺う。

質問事項 2

市有墓地の管理について

質問の要旨

- (1) 近年、少子高齢化や過疎化の影響で墓を守る人がいない「無縁墓」が増加し、墓地の荒廃化等が社会問題となっている。本市ではどのように対応しているのか。
- (2) 改葬等により不用になった市有墓地の返還については、墓地を利用しなくなった日から 30 日以内に、利用墓地を更地にした写真を添えて届け出ることになっているが、返還に至るまでの期間のばらつきや用地の原状回復の状態に差異があるなど、墓地によって異なった運用がなされている現状がある。市として統一的な基準を設けるべきではないか。

6. 朝 長 隆 洋 議員

質問事項 1

P T A活動の活性化について

質問の要旨

- (1) 小中学校における P T A活動の現状についてどのように認識されているのか伺う。
- (2) 子ども夢基金は、P T Aの活動にも活用されたのか伺う。

質問事項 2

スポーツ振興策について

質問の要旨

- (1) 西海市体育協会が法人化され、今後、西海市におけるスポーツの更なる振興が期待される所、次の点について伺う。
 - ① 体育協会の法人化によって、どのような効果が期待されるのか。

- ② スポーツ振興課と体育協会の連携を強化する上での同課の役割として、職員力の向上はもとより、市民協働の推進や各種団体の活性化に向けた支援策に一層努めることなどが考えられるが、具体的にどのような方策を考えているのか。
- (2) スポーツ振興に向けた支援策に関し、次の点について伺う。
- ① 小学生・中学生の児童・生徒数減少に伴い、クラブ活動・社会体育活動の存続が危ぶまれ、さらには指導者の負担増や活動の停滞が考えられるが、西海市の現状についてどのように認識し、今後、どう活性化させようと考えているのか伺う。
- ② 市内のスポーツ指導者、あるいは競技審判の方など、運営に携わる方々の苦勞をどのように認識し、支援していく考えか伺う。
- ③ スポーツ環境の整備については、体育協会の中でも議論されていると思うが、市としてどのように考えているのか伺う。
- ④ 西海市内の一部競技団体のご努力によって、市内外から多くの方に参加いただけるような大会を計画しても、施設使用料の減免規定の対象とならず、開催や運営が財政的に厳しいという声を聞くことがあるが、市の支援策として、そのような事例に対応する方策はないのか伺う。
- ⑤ 子ども夢基金を活用する事業として、スポーツにも目を向けるということであったが、どのような成果を上げているのか伺う。

7. 宮本一昭議員

質問事項1

農業政策について

質問の要旨

昨年11月に平成27年度から平成31年度までの5か年計画として西海市農業振興計画が策定された。西海市の基幹産業である農業も今日、大変厳しい状況にあり、一日も早い対策を講じなければならないと考える。そこで計画書にそって、次の事項について質問する。

- (1) 現在進行中の丸田地区における土地の集積や受益戸数は、計画に対しどのような進捗状況か。また、計画を進めている白崎地区、小迎地区の今後の見通しを伺う。
- (2) 個人や複数農家での小規模な基盤整備事業に対し、助成制度を設立する考えはないか伺う。また、付属設備として農道・かんがい設備・排水設備の整備に助成

する考えはないか伺う。

- (3) 資料によると平成 25 年の耕作面積は 2,510ha、耕作放棄地面積が 2,818ha となっている。解消の手段をどのようにお考えか。
- (4) イノシシによる被害が年々増加している。増え続けるイノシシは、捕獲しか減らす手段はない。捕獲隊、捕獲員の増員を早急に行うべきと思うが市長の考えを伺う。
- (5) 市内稲作農家においては、近年、無人ヘリコプターによる農薬散布が行われ、その委託面積も年々増加している。農家においては、散布作業の軽減により労力の削減がなされ、高齢農業者にも喜ばれている。そこで担い手育成の制度によって、ヘリオペレーターの育成ができないか市長の考えを伺う。

8. 井田利定議員

質問事項 1

地方創生元年・西海市の将来像について

質問の要旨

- (1) まち・ひと・しごと創生法による西海市の人口ビジョン及び地方版総合戦略の概要について伺う。
- (2) 地方創生先行型や地方消費喚起・生活支援型など地方創生に係る緊急的取組みを対象とする交付金が、2014 年度補正予算で成立しているが、これに係る西海市の施策について伺う。また、地域消費喚起や地域経済の好循環を図るためのプレミアム商品券の発行は計画されているのか伺う。

質問事項 2

旧長崎オランダ村再生について

質問の要旨

- (1) 市長就任以来、旧長崎オランダ村の再生に向けて努力されているが、現段階では先行きに不透明な部分も多い。現在の進捗状況について伺う。
- (2) これまで旧長崎オランダ村の再生に投じた公費の総額（ハード面とイベント実施補助金等ソフト面を区別して）及びその効果をどのように評価しているのか伺う。

質問事項 3

子どものネットトラブルの防止について

質問の要旨

- (1) 近年の急速な普及により、低年齢層に至るまで多くの子どもが携帯電話やスマートフォンを所持しており、ゲーム等に熱中しすぎて多額の使用料が請求される事例やネットによるいじめ、犯罪などが報道されている。市内小中学生の携帯電話やスマートフォンの所持率及び所持者数（全小学校の総数、全中学校の総数で区分）について伺う。
- (2) 教育委員会として、使用制限など指導を徹底しているか伺う。

9. 戸 浦 善 彦 議員

質問事項 1

西海市民の幸福感の醸成と活気あるまちづくりについて

質問の要旨

合併時に描いていた新市計画と 10 年後の現在では、社会情勢の変化等により、まちづくりにおける課題には大きな変化があるものと思われる。市としてこの 10 年間でどのように検証し、どのようなビジョンを持って今後 5 年間のまちづくりを進めていくのか。合併特例債の期間延長に伴う事業の見直しや重点施策の推進と併せて、今後の方針を伺う。

質問事項 2

西海市の人口減少対策について

質問の要旨

西海市においても昨年、人口減少に歯止めをかけるべく「西海市人口減少対策推進本部」が立ち上げられたと伺っているが、どのような組織、構成で、どういった協議がなされてきたのか。その中で早期に実施が予定されている事業や具体的な提案等があるのか。また、現状における西海市の人口減少対策の将来的な指標、それに向けたスケジュール等は検討されているか、国、県の動向も含めて伺いたい。

質問事項 3

西海市の子ども・子育て支援について

質問の要旨

本年4月から実施される「子ども・子育て支援新制度」による現行事業に係る主な変更内容と課題について伺う。

また、現在、西海市独自の施策として「第2子以降の保育料無料」を実施しているが、新制度導入後も継続は可能か。なお、子育て環境整備のためには、更なる支援が必要と考えるが、今後新たに導入を検討している支援事業等があれば伺いたい。

10. 中尾清敏議員

質問事項1

消防行政と消防団員優遇策について

質問の要旨

- (1) 平成21年12月定例会一般質問において、消防ポンプ車の乗入れ困難地域は、西彼町3か所、西海町5か所、大瀬戸町4か所、大島町3か所、崎戸町2か所、計17か所あるとの答弁を得たが、その後の乗入れ困難解消状況を伺う。
- (2) 自主防災組織とは、「自分達の地域はみんなで守る」という意識のもと、地域住民の連携に基づき結成される防災組織である。その意義は、災害の発生時に住民が連携を取り、互いの身を守るための防災活動を行うことにある。西海市内の自主防災組織設立の状況を伺う。
- (3) 男女共同参画の推進と欠員対策として、女性消防団員を確保して消防団の活性化を図ることを検討してはどうか。
- (4) 現在、防災関係の訓練としては、長崎県総合防災訓練、佐世保市との相互応援協定に基づく出動訓練、西海市消防団単独での消火訓練などが挙げられるが、いずれも参加者は消防団関係者のみである。
市民の防災意識の向上に向け、市民一体となった「西海市総合防災訓練」が必要と思うが、市長の考えを伺う。
また、市の施設における火災消火訓練や避難訓練の実施状況と、大災害を想定した市職員の訓練はなされているのか伺う。
- (5) 消防団員は、災害対応や訓練出動で身体的、精神的に疲れることが多く、健康管理など福利厚生の実施が必要と考えるが、現状はどうなっているのか伺う。
- (6) 平成25年9月定例会一般質問において、消防団本部に副団長を配置する考えはないかとの同僚議員の質問に対し、消防団とも十分に協議し前向きに検討するとの答弁を得た。その後の消防団との協議は行われたのか伺う。

11. 小 嶋 俊 樹 議員

質問事項 1

旧長崎オランダ村について

質問の要旨

- (1) 旧長崎オランダ村の再生事業は順調に進んでいるか。進捗状況を伺う。
- (2) 旧長崎オランダ村再生の本来の目的である情報発信基地としての機能は確立できつつあるか。

質問事項 2

西海市地域包括支援センターについて

質問の要旨

少子高齢化が進行する中、高齢者自身やその家族が地域社会で安心して暮らしていくために、地域包括支援センターの担う役割は大きい。

西海市地域包括支援センターで行っている各種サービスや事業について、問題点や課題はないか伺いたい。また、広い市域を持つ西海市の地域性も踏まえ、今後の地域包括支援センターのあり方をどのように考えているのか伺う。

12. 杉 澤 泰 彦 議員

質問事項 1

定住政策と教育環境整備について

質問の要旨

定住促進政策は、今、西海市が取り組まなければならない重要政策の一つである。人が特定の場所に定住を考えると、その要件となるのは仕事、医療、福祉、住宅、教育など将来にわたる暮らしやすさと、安心感であると思われる。特に教育環境の充実はこれから家庭を築き上げる若者たちにとっては仕事の場の確保に並ぶ欠くべからざる必要条件となる。次のことを聞きたい。

- (1) 定住志向と教育環境整備の関連性について市長及び教育委員会の考え方を聞く。
- (2) 若年者の定住を促進するためには、幼児教育の充実も必要だが、現状と今後の課題についてどう考えているか。
- (3) また、そのためには、小中学校児童、生徒の学力向上も必要だと思うが、市の取り組みは、学校外(土日祭日など)における市側の政策として基本計算、漢字、

英単語学習など不足しがちな家庭学習の補完として補習講座の開設は考えられないか。

- (4) 定員割れになっている市内県立高校3校の今後の動向をどのように捉え、どのような問題が存在すると考えるか。これからの対策について聞く。
- (5) 昨年第1回定例会において大島町の潜在能力の高さを西海市のまちづくりに活かすべきであるという趣旨の一般質問の中で、定住政策の取り掛かりとして教育、医療、福祉の充実が必要であることを指摘した。また、市外通勤者を対象に定住するにはどのような条件整備を必要とするのかアンケート調査を実施したらどうかという質問に対し、大島造船所の協力をいただき早急に取り組みたいという答弁をいただいたがアンケート結果について聞きたい。

質問事項2

改正介護保険法の実施における西海市の対応について

質問要旨

来年度より介護認定の要支援部分については介護保険の給付サービスから切り離し、市町村の裁量に任せるとなっているが、西海市の介護予防事業の取り組みについて聞きたい。

- (1) 保健センターなど既存施設の充実、新規事業について
- (2) NPO法人、ボランティアの育成について